

## CSR(社会的責任)に対する取り組み



## トップメッセージ

持続可能な社会の実現に向けて、社員一人一人が社会的責任を意識し、企業として持続的な成長をめざします。



スジャータめいらく株式会社  
代表取締役社長

日比 裕 健



### ■ 100歳企業をめざして持続的な成長を

2019年、スジャータめいらくグループは創業から73年目を迎えました。創業者 日比孝吉が行商、露天商を経て個人商店から事業を始め、現在では全国に70数カ所の営業・生産拠点を構える企業グループとして、多くの方々の大切な食に関わる仕事をさせていただいています。これもひとえに、日頃当社を色々な形で支えていただいている皆様のおかげと、厚く御礼を申し上げます。



創業者 日比孝吉  
(1928～2017)

本報告書では、現在の取り組みの一端をご紹介しますが、皆様とのコミュニケーションの一環として活用させていただくのはもとより、社員もまたこれを共有して理解を深め、各現場において、より一層知恵を絞って改善に取り組んでまいります。

内容については、大きく4つの下記項目に分けてまとめさせていただきました。まだ至らない点多々ございますが、ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をいただけましたら幸いです。

今後「創業100周年」を一つの目標として掲げ、さらなる持続的な成長を遂げていくためには、企業として経営計画達成に向け努力するだけでなく、社員一人一人のレベルにおいても社会的責任に対する意識を高め、事業の枠にとどまらない、さまざまな課題解決に取り組んでいく必要があります。



## CONTENTS

### ■ 環境への取り組み



- ・CO<sub>2</sub>排出量削減状況
- ・廃棄物、エネルギー使用量削減
- ・食品リサイクル率100%達成
- ・太陽光発電、LNGの活用
- ・RSPOへの入会 ほか

### ■ 地域・社会への取り組み



- ・佐倉市、大府市へのご協力
- ・にんにくサプリメント無償配布
- ・地域の清掃活動推進
- ・警察との交通安全の取り組み
- ・「百寿会の集い」開催 ほか

### ■ お客様への取り組み



- ・ISO22000 認証取得
- ・健康志向の製品開発
- ・放射性物質、残留農薬の測定
- ・パッケージ利便性の向上
- ・海外原料の直輸入 ほか

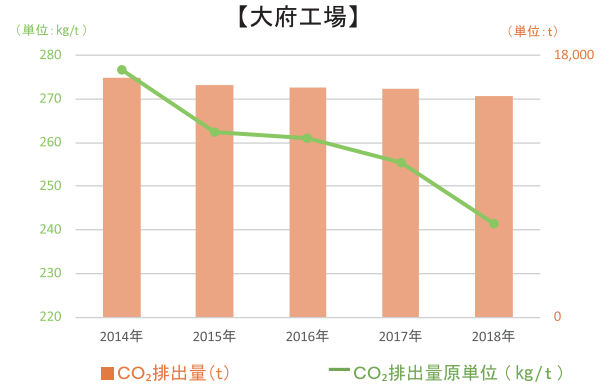
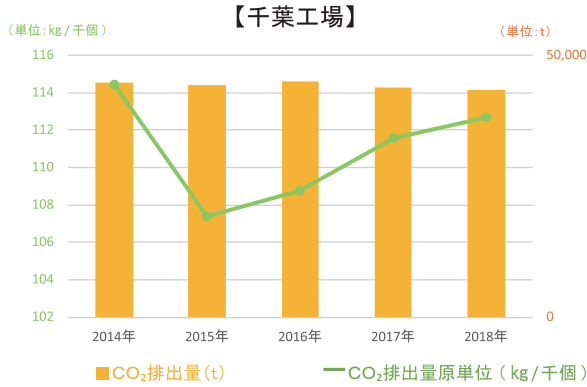
### ■ 従業員への取り組み



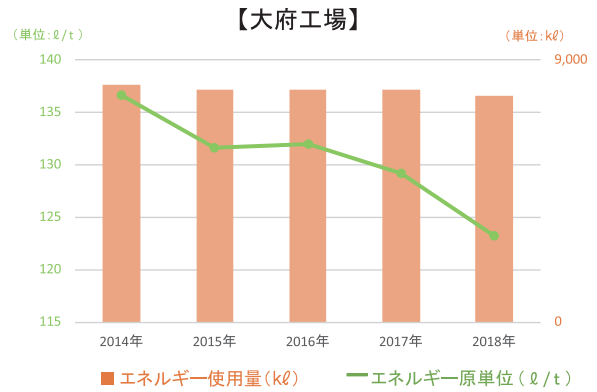
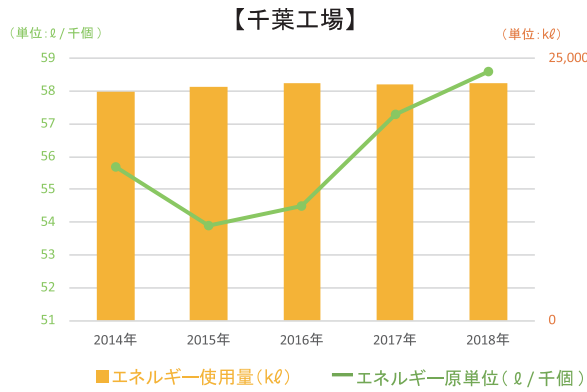
- ・健康経営の推進状況
- ・高齢者雇用状況
- ・車両事故削減の取り組み
- ・各種社員研修の実施
- ・防災訓練等実施状況 ほか

# 環境への取り組み

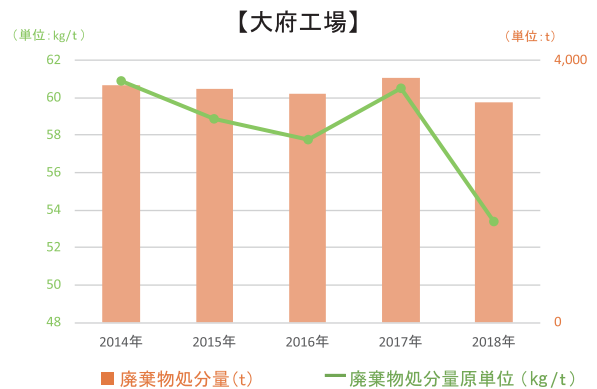
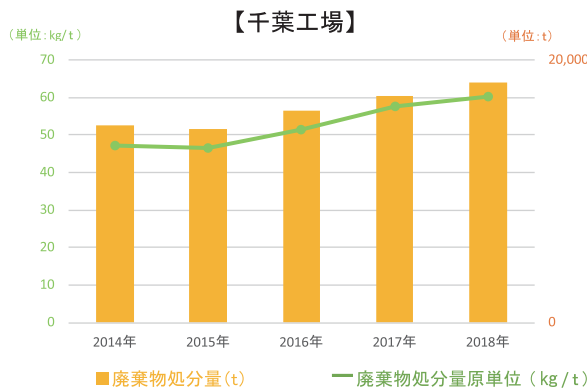
## ● CO<sub>2</sub> 排出量削減状況



## ● エネルギー使用量削減状況



## ● 廃棄物削減状況



製造品の商品構成の変化により原単位で見ると千葉工場では上昇傾向が、大府工場では大幅な改善傾向がみられます。これは主に商品カテゴリーごとの殺菌(滅菌)方法の違いに関係しており、今後千葉工場においては製造品の商品構成の見直し、一つの検討課題となります。

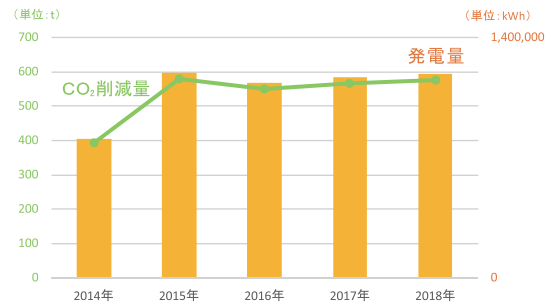
※原単位…一定量の製品を生産するのに必要な原材料や燃料等の量を表す単位で、原単位が小さいほど、生産の合理化が進んでいることを示します (例: CO<sub>2</sub>排出量÷生産量=CO<sub>2</sub>排出量原単位)

## 環境への取り組み

### ● メガソーラー設備による太陽光発電



千葉第二工場では2014年5月より屋上に4200枚のソーラーパネルを設置して太陽光発電を行っています。平均した年間の発電量は約1,171,000kWh、CO<sub>2</sub>削減量は約569tでスジャータポーション生産量に換算すると約878,657,000個を製造できるエネルギーにあたります。



【年間の発電量とそれによるCO<sub>2</sub>削減量】

### ● ノンフロン冷却設備の導入



千葉第二工場では2011年8月よりNH<sub>3</sub>とCO<sub>2</sub>を冷媒とするノンフロンの冷却設備を導入しました。同設備は政府の地球温暖化対策補助金支給対象としても認可されました。年間のCO<sub>2</sub>削減量は平均して約530tと試算しています。

### ● 都市ガスの活用



本社工場・大府工場・千葉工場において、生産設備での重油使用をやめ、都市ガスに切り替えています。これによる年間のCO<sub>2</sub>削減量は約12,300tと試算しています。

### ● 食品ロス削減につながる製品の開発



製品の安全性と鮮度保持の追求のため、無菌充填によるロングライフ製品の開発を進めています(1975年～)。工場の設備や製造工程の違いから、一般的なチルド殺菌の製品よりも賞味期限を長く設定することができ、食品ロスの削減につながっています。

## 環境への取り組み

### ● 食品リサイクル率100%達成

※以下はリサイクルの一例です。工場によりリサイクル方法は異なります。  
(イラストはイメージです)

【スジャータ・乳製品製造ライン】



リサイクル率  
**100%**



【アイスクリーム製造ライン】



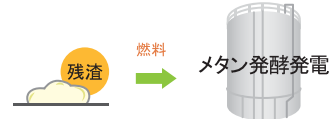
リサイクル率  
**100%**



【レトルト製造ライン】



リサイクル率  
**100%**



【有機豆乳製造ライン】



リサイクル率  
**100%**



【コーンポタージュ製造ライン】



リサイクル率  
**100%**



【きくのIFCコーヒー製造ライン】



リサイクル率  
**100%**



2018年度は、全工場で食品リサイクル率100%を達成することができました。  
各工場におけるリサイクル活用の一例として、下記のような取り組みをしています。

- ・ 本社工場：アイスクリーム製造ライン … 汚泥を発酵肥料として
- ・ 大府工場：スジャータ・乳製品製造ライン … 廃酸を豚の飼料として  
レトルト食品製造ライン … 残渣をメタン発酵発電の燃料として
- ・ 千葉工場：有機豆乳製造ライン … おからを酪農の飼料として  
コーンポタージュ製造ライン … コーンかすを肉牛の飼料として  
きくのIFCコーヒー製造ライン … コーヒーかすを堆肥として

### ● オーガニック原料(有機)の使用



環境への負担を低減したオーガニックの原料として、「豆腐もできます有機豆乳」などの豆乳製品において有機大豆を、「有機野菜100%」において有機野菜をそれぞれ使用しており、製造工場では有機JAS認証も取得しています。

### ● RSPO〔Roundtable on Sustainable Palm Oil〕への入会 (持続可能なパーム油のための円卓会議)

パーム油はアブラヤシの果実から得られる植物油で、菓子やパン、カップ麺などの加工食品や化粧品、医薬品に至るまで幅広く利用されています。その生産にあたっては熱帯林伐採や生物多様性の消失、農園での不当な労働などの問題が生じており、持続可能な生産と利用を促進する非営利組織としてWWF(世界自然保護基金)が支援し、RSPOが設立されました。

当社でも植物性脂肪のコーヒーフレッシュやホイップなど、多くの製品においてパーム油を使用しており、このたび趣旨に賛同して入会致しました。



## 環境への取り組み

### ● 車両の燃料使用量削減状況

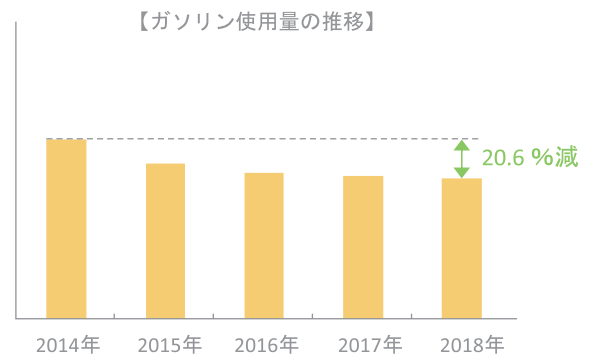
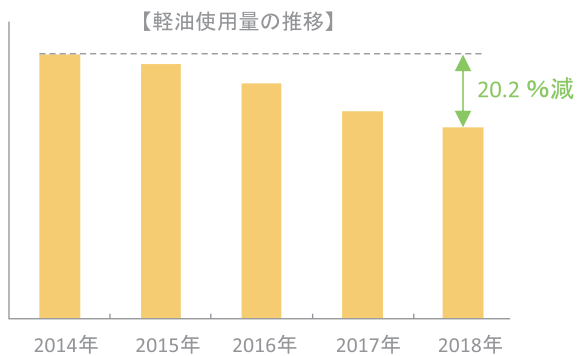
配送トラック（2t・3t・4t）と営業車両（軽・ライトバン）を合わせて、グループ全体で約1200台の車両が全国で稼働している中、配送コースの効率化などの取り組みと並行して燃料使用量の削減に努めています。



配送トラックは約900台



営業車両は約300台



### ● アイドリングストップ時の冷却可能な配送車両の導入



今や地球規模の環境問題となった排出ガスによる大気汚染への対応、および商品の鮮度保持を考慮し、アイドリングストップ時の冷却機能を備えた「蓄冷式車両」「ハイブリッド車両」を導入しています。

（蓄冷式：50台、ハイブリッド：7台）

### ● 物流効率化の取り組み



工場～営業所間の一次輸送を委託している運送業者様のご協力もいただきながら、より効率的な運行計画へ常に改善を図っています。また、物流拠点の最適化のため、営業所の移転・統廃合にも取り組んでいます。

- ・2018年9月、長崎駐在所移転
- ・2019年6月、四日市営業所移転

## お客様への取り組み

### ● 全工場におけるISO22000の認証取得



JQA-FS0118

牛乳、乳飲料、ホイップクリーム、アイスクリーム類及び氷菓、コーヒーフレッシュ、清涼飲料水(果汁飲料、豆乳・大豆飲料、コーヒー、等)、レギュラーコーヒー、塩、スープ、ソース、サワークリーム、洋菓子及び洋生菓子、冷凍食品(パンケーキ)、シロップ、ゼリー及びプリン、レトルト食品(カレー、スープ、ソース)

食品安全マネジメントシステムの国際規格であるISO22000の認証を本社、大府工場、千葉工場の3カ所で取得しました。HACCPの手法に基づき、原材料の受入れから製造、出荷までの工程ごとにリスク分析・安全対策を講じることにより、食品危害を防ぐ取り組みをしています。

### ● 放射性物質の測定



東日本大震災以降、放射性物質測定器を導入し、原料、製造品、および工場で使用する水に関して自主検査を実施しています。

千葉工場で使用する水道水に関しては、佐倉市による検査においても安全性が確認されています。

### ● 原材料の残留農薬測定、開発時の成分分析



海外からの輸入原料も含め、原料の残留農薬測定や、商品開発の際の各種成分分析を自社で行っています。

### ● 名古屋市「自主管理認定制度」認証取得



名古屋市が食の安全・安心条例第19条に基づき実施する「名古屋市食品衛生自主管理認定制度」における基準を満たす食品等製造施設として、本社工場とラトリア工場が認定をいただいています。

### ● お取引先様による工場見学のご案内



お取引先様による製造ライン確認のための工場見学をご案内させていただいています(一般公開は致しておりません)。

## お客様への取り組み

### ● 栄養機能食品の製品開発



現代の食生活で不足しがちな栄養成分の補給の一助に、さまざまな栄養機能食品の開発を推進しています。スーパーフードのチアシードも当社が国内にさきがけてチルドカップ飲料として製品化し、普及のための育成に継続して取り組んでいます。

### ● 乳成分不使用のホイップクリームの開発



乳アレルギー疾患のお子様に向けて、原料に乳製品を使用せず、植物性脂肪と有機豆乳を中心に製品化しました(2005年発売)。現在では乳アレルギー関連の研究者や団体を通じてご推奨いただく他、乳糖不耐症、ビーガン等にも対応した製品として注目されています。

### ● スジャータにおけるトランス脂肪酸低減

スジャータ1個(3ml/5ml/8ml)あたりのトランス脂肪酸含有量(g) 計算値

スジャータP (5ml)	スジャータ 低カロリー (5ml)	ニュー スジャータ (3ml)
0.0	0.0	0.0

スジャータ 乳脂肪5% (5ml)	スジャータ プレミアム (8ml)
0.0	0.2

コーヒーフレッシュの各種製品において、植物油脂原料を変更する等してトランス脂肪酸の低減に取り組んでいます。アメリカで規制の対象となっている部分水素添加油は使用しておりません。

(スジャータプレミアムの数値は天然由来のものです)

### ● コーヒー焙煎豆の香気成分の有効性研究

- 腸管免疫活性化作用(2013年)
- 血中免疫抗体産生活性化作用(2014年)
- 血中免疫物質増加作用(2015年)
- 抗不安効果(リラックス作用)(2016年)
- 脂質代謝改善効果(2016年)
- 血中尿酸値抑制効果(痛風予防)(2018年)

コーヒー豆を焙煎後、一般的に行われるガス抜き(エージング処理)をせずに包装し、香気成分の放出を抑制しています。その香気成分には香りの良さだけでなく様々な有効性が期待されており、これまでの自社研究により左記の有効成分を特定し論文発表しています。

### ● 商品パッケージの利便性向上の取り組み



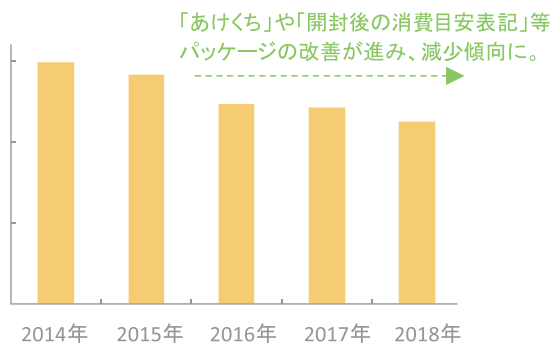
お客様からいただくご要望をもとに2015年から段階的にポタージュ類のパッケージ注ぎ口の口栓化を進め、2019年3月、メインとなる8品を口栓付に改善させていただきました。



## お客様への取り組み

### ● お客様相談室へのお問合せ状況

#### 【お問合せ件数の推移】



#### 【多くいただくお問合せ】

- ・豆乳入りホイップの販売店について
- ・きくのIFCコーヒーの販売店について
- ・シルクアイス導入にあたり詳細について
- ・配送トラックの運転マナーについて

お客様相談室には、多くの消費者の皆様からお問合せ、ご意見をお寄せいただき、その一件一件に対して真摯な対応を心がけて取り組ませていただいています。

お寄せいただいたご意見は、経営トップを含めて関係部署へ伝達し共有させていただき、製品開発やサービス向上、運転マナー向上などに役立てています。

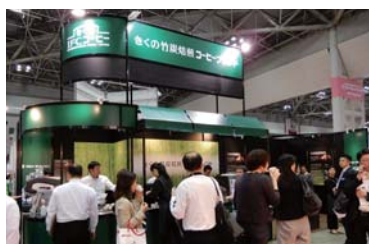
ここ数年、一部製品パッケージの「あけくち」改善や、開封後の消費目安のパッケージ表記追加など、多くのお客様からご要望いただいていた改善が進んだこともあり、全体のお問合せ件数は減少傾向にあります。なお、当社お客様相談室ではお客様のご意見に対するスピーディーな対応を念頭に、土日祝日もお電話でのご対応をさせていただいています。(9:00~18:00)

### ● SNSを活用した消費者コミュニケーション



ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を活用した情報配信・コミュニケーションも行っています。YouTubeでは工場内の製造ラインやルート営業マンの業務内容をご紹介します動画等を公開しています。

### ● 食品展示会を通じた顧客コミュニケーション



業務用食品最大の展示会「FABEX(ファベックス)」に出展、竹炭焙煎したコーヒーのご提案を中心に専門のバリスタを交えてお客様とのコミュニケーションを図るブースを設けさせていただきました。

- ・4月11日~13日「FABEX2018」東京ビッグサイト
- ・10月23日~25日「FABEX関西」インテックス大阪

### ● 海外原料の直輸入



海外原料の安全性と品質の確保、トレーサビリティ向上に取り組む中、幅広く情報を収集するため直輸入を進めています(約30カ国より)。

ブラジルと中国には現地法人を設立して活動しています。(サンパウロ、北京、上海、日照)

## お客様への取り組み

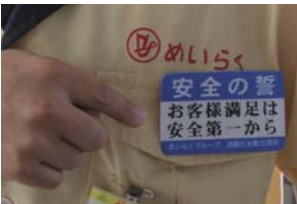
### ●「過酸化水素事故」周年キャンペーン



過酸化水素事故は1987年11月に大府工場で発生しました。カフェオレ等のカップ飲料の製造ラインにおいて、容器滅菌用の過酸化水素が誤って製品に混入し、対象商品以外も含めて全製品を回収し工場は数日間、操業停止となりました。(重大な健康被害には至らず)

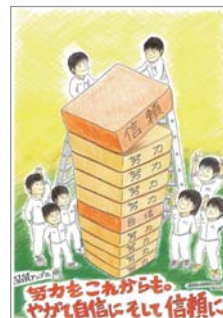


当時の新聞・テレビ等でも大々的に報道され、多くのお客様から大変厳しいご意見をいただきました。この事故を教訓に、工場では品質管理体制の抜本的な改善に取り組み、現在では本社工場・大府工場・千葉工場の3工場でISO22000の認証を取得しています。



当社ではこの事故の教訓を忘れないよう、毎年11月に全社員が安全第一を喚起するワッペンを制服に着用し当時の状況を振り返る研修会の実施や、全社挙げての一斉清掃などに取り組んでいます。

工場においては、安全第一を啓蒙する従業員による手作りのポスターを毎年募集し、現場の安全意識向上に取り組んでいます。過酸化水素事故31周年となる2018年は、合計131作品の応募があり、工場内で掲示しています。



## 地域・社会への取り組み

### ● にんにくサプリメント 「めいらくアホエンNS-38」配布活動



1990年より、にんにく由来の有効成分を含有したサプリメントの無償配布を継続しています。2018年時点でご登録の約31万名の方に配布させていただいています。これまで災害時には支援物資としてもご活用いただいています。

(2003年の中国のSARS流行時は北京へ、2011年の東日本大震災の際は東北へ)

### ● にんにくの有効成分「アホエン」の研究

【アホエンに関連する特許取得状況】

- ①にんにくの加工処理方法  
およびアホエン含有油脂の製造法(日・米・欧・中)
- ②ピロリ菌撃退(抗ヘリコバクター・ピロリ剤)
- ③認知症予防(アセチルコリンエステラーゼ阻害剤)
- ④脳卒中抑制(脳卒中抑制剤)
- ⑤強心剤(cAMPホスホジエステラーゼ阻害剤)
- ⑥痛風予防(血中尿酸低下作用剤)

にんにく由来の有効成分「アホエン」の研究を1994年から自社で継続し、左記の特許を取得しています。

### ● 「百寿会の集い」開催



1998年、第1回 百寿会の集い

1998年より“健康のままで100歳を迎える”をコンセプトにした講演イベントとして、およそ年1回のペースで開催を続けています。

医学博士や大学教授など専門の講師をお招きし、健康と長寿をテーマに一般来場者の方にもわかりやすい講義をおこなっています。



2018年、第20回 百寿会の集い

2018年の第20回百寿会の集いでは、名古屋駅前の会場ウインクあいちに約600名の方にご来場いただき、官足法友の会の行本昌弘会長、名古屋学芸大学大学院の下方浩史教授による講演の他、スポーツクラブアクトスのインストラクターの方による脳活体操など、約3時間にわたりお楽しみいただきました。(6月16日)

### ● 工場・営業所周辺の清掃活動



全国で工場や営業所周辺の清掃活動を行っています。千葉工場では年3回行われる佐倉市の第三工業団地の一斉清掃にも参加させていただいています。



## 地域・社会への取り組み

### ● 災害時の佐倉市への物資供給のご協力



千葉工場が所在する千葉県佐倉市とは「災害時等における物資供給等協力に関する協定」を2012年に締結。毎年行われる「佐倉市市民防災訓練」には飲料ご提供等で参加・ご協力をさせていただいています。

(2018年10月21日、根郷中学校)

### ● 「佐倉モノづくりフェスタ」、「佐倉花火フェスタ」ご協力



佐倉モノづくりフェスタ



佐倉花火フェスタ

佐倉市産業まつり「佐倉モノづくりフェスタ」に2012年以降、毎年参加させていただいています。

(2018年5月19～20日、佐倉市民体育館)

また「佐倉花火フェスタ」にも同様にご協賛をさせていただいています。

(2018年8月4日、印旛沼湖畔)

### ● 大府市内の小学校3・4年 社会科副教材へのご協力



主に業務用乳製品を製造している大府工場が所在する愛知県大府市では、市内の小学校3・4年生が使用する社会科副教材『おおぶ』にご協力をさせていただき、地元の食品工場としてご掲載いただいています。

### ● 地域警察と交通安全の取り組み



地域警察のご依頼に応じて、年4回行われる全国交通安全運動にご協力(本社近隣のし哨活動のほか、社員が一日女性警察官をつとめさせていただく等)をさせていただいています。また、配送担当者の安全運転研修により事故防止と運転マナー向上につとめています。

## 地域・社会への取り組み

### ● (一社)全日本司厨士協会へのご協力



一般社団法人・全日本司厨士協会の活動を支援させていただいています。2016年には地元支援も兼ね「第24回世界料理オリンピック」日本代表チーム出場を支援させていただきました。

2020年の第25回大会出場も支援させていただきます。

### ● 「おおば比呂司癒しの世界展」へのご協力



当社マスコットキャラクターの原案を作画いただきました漫画家、おおば比呂司さんの没後30年を記念した展覧会「おおば比呂司癒しの世界展」が2018年、夏に開催され、関連する一部原画の展示等ご協力をさせていただきました。

(2018年8月14～27日、札幌三越9階)

### ● 万松寺「スジャータまつり」へのご協力



「スジャータまつり」は名古屋市内の亀岳林万松寺で毎年12月に行われます。修行で疲れ果てたお釈迦様に乳粥を施して救ったとされるインドの娘スジャータの功績を称える催しで、2018年も来場者に振舞われるホットミルク用の牛乳をご提供させていただきました。

(2018年12月8日、亀岳林万松寺)

### ● 愛知県剣道道場連盟を通じた支援活動



愛知県剣道道場連盟の会長職を当社代表が務めさせていただき、剣道を通じた小中学生の育成支援に取り組んでいます。2018年は4月28日の第47回愛知県道場少年剣道大会、10月21日の「近藤杯」争奪少年剣道練成大会などを支援させていただきました。

### ● 地元少年少女サッカークラブへのご協力



スポーツ支援の一環として、地元少年サッカークラブ「シルフィードフットボールクラブ」の活動を支援させていただいています。



## 従業員への取り組み

### ● 定期健康診断の実施状況

#### 【2018年度 定期健康診断の受診率】

・名古屋製酪	: 100%
・東京めいらく	: 97.9%
・大阪めいらく	: 100%
・九州めいらく	: 95.2%
・ラトリア	: 100%

従業員の健康管理の一環として「40歳未満の定期健康診断の受診率実質100%」を目標に取り組んでいます。

### ● 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

#### 【2018年度 特定健康診査の受診率】

・名古屋製酪	: 95.4%
・東京めいらく	: 94.6%
・大阪めいらく	: 97.7%
・九州めいらく	: 86.8%
・ラトリア	: 98.0%

40歳以上の従業員に対しては、特定健康診査の受診を推進しています。所見が認められた受診者には、特定保健指導を行っています。

### ● ストレスチェックの実施状況

・本社	: 98.2%
・大府工場	: 100%
・千葉工場	: 92.2%
・ラトリア	: 79.1%

従業員のメンタルヘルス不調の未然防止を目的として50人以上の事業所を対象に実施を推進しています。また本社においては、希望者に月一回、産業医による面談の機会を設け、個別に健康指導を行っています。

### ● 木曽駒健康保険組合荘の活用

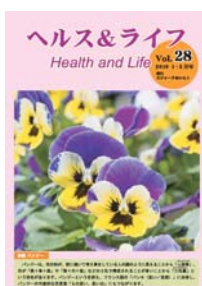


長野県の木曽駒高原に福利厚生施設として2011年竣工。従業員のレクリエーション等で活用されています。

住所: 長野県木曽郡木曽町日義4898-625

敷地面積: 7218㎡ / 客室31室

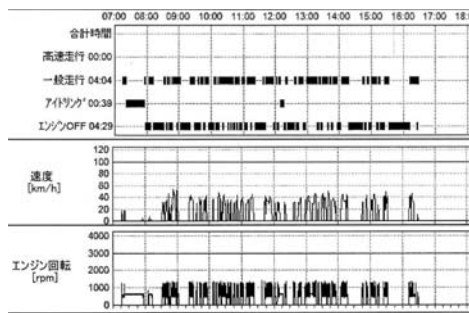
### ● 健康情報冊子『ヘルス&ライフ』発刊



サプリメント「めいらくアホエンNS-38」無料配布の際に同封する冊子として、2014年から隔月で発刊しています。にんにくに関するプチ情報や健康情報全般をご紹介します。アホエンご愛飲者の健康管理の一助にお役立ていただいています。

## 従業員への取り組み

### ● 車両事故削減の取り組み



デジタルタコグラフの一例

ルート配送トラックへのデジタルタコグラフの搭載を進めています。2011年の導入開始以降、デジタルタコグラフのデータをもとにチェック・指導に取り組み、車両事故の発生件数は、導入当初の2011年と比較して2018年は約4割減少しています。

### ● 各種社員研修実施の取り組み

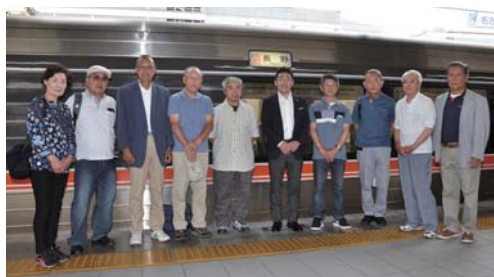


ブラジル研修

千葉工場研修

従業員のスキルアップ・モチベーションアップを目的として、各種研修を実施しています。営業マンも含めて製造現場への理解を深める千葉工場研修や、職場の改善提案において優秀な取り組みをした従業員によるブラジル視察研修など、2018年に新たに実施しました。

### ● 高齢者雇用の状況／特別サポーター制度



木曽駒健康保険組合荘で慰労会も開催

定年を迎えた従業員の雇用継続の一環として、特別サポーター制度を設けました。現在、特別サポーター9名(65～70歳)が、永年の経験を生かした現場業務に従事しています。

### ● 防災訓練・救命講習実施の取り組み



営業所では9月に、工場では10月に毎年実施しています。消火・通報・避難など法定訓練のほか、工場では消火器訓練、水消火器訓練、動力消防ポンプ訓練なども自主的に実施しています。救命講習は工場で年1回実施しています。